

## 通勤・通学者アンケート調査

### 1. 調査概要

#### (1) 目的

名古屋市の望ましい姿について、名古屋市への通勤・通学者（市外居住者）の重要度・満足度を把握し、本市への課題やニーズを把握するもの。

#### (2) 調査対象

愛知（名古屋市以外）・三重・岐阜県在住の本市への通勤・通学 3000 人内訳は次表のとおりです。

	愛知県	岐阜県	三重県
18～29歳	650	113	57
30～39歳	735	100	45
40～49歳	640	90	43
50～59歳	307	53	45
60～69歳	98	14	10
合計	2430	370	200

※県別の人数については、国勢調査の結果に基づきました。

また年代については、調査可能な範囲で、国勢調査の結果に近づけました。

#### (3) 調査方法

アンケート調査会社に調査を委託し、会社に登録している会員に対しインターネットを利用して調査を実施しました。

#### (4) 調査期間

平成 24 年 10 月 11 日（木）～10 月 22 日（月）

#### (5) 調査内容

- ・名古屋市が望ましい姿（30 項目）をめざす重要度
  - ・名古屋市の望ましい姿（30 項目）に対する現在の満足度
- ※望ましい姿の 30 項目は、名古屋市民 2 万人アンケート調査結果のうち、通勤・通学者が本市に関わる項目から選びました。

## 2. 調査結果

### (1)「望ましい姿」をめざす重要度について

- ・それぞれ掲げる「望ましい姿」を名古屋市がめざすことは、どの程度重要か5段階で回答を得ました。
- ・平均点は「重要である」を5、「やや重要である」を4、「どちらともいえない」を3、「あまり重要でない」を2、「重要ではない」を1として、各回答者数を乗じ全回答者数で除して算出しました。

### ◇結果について

- ・通勤・通学者が考える本市の重要度が高い項目には、公共交通、防災などの項目が挙げられます。
- ・通勤・通学者が考える本市の重要度が低い項目には、文化、国際交流などの項目が挙げられます。

### ◇市民アンケートと比較した結果について

- ・市民アンケート結果をもとに30項目の順位をつけ、双方の順位を比較しました。
- ・市民より通勤・通学者の重要度が高い項目には、スポーツなどの項目が挙げられます。(凡例 )
- ・市民より通勤・通学者の重要度が低い項目には、自然環境などの項目が挙げられます。(凡例 )

順位	望ましい姿	平均点	市民アンケート 順位
1	公共交通機関が便利で利用しやすい	4.51	5
2	災害などの緊急時に人々を守る体制が整っている	4.43	2
3	災害時の情報がさまざまな手段で提供され、人々に迅速に行き渡る	4.41	1
3	スポーツイベントが数多く開催されている	4.41	29
5	地震や大雨等に備えた、災害に強いまちづくりが進んでいる	4.39	3
6	働く意欲のある人が職に就くことができる	4.26	4
7	交通事故が少ないまちになっている	4.22	6
8	空気や水がきれいで、騒音や悪臭などがない快適な生活環境が守られている	4.19	7
9	次の時代を担う産業が育ち発展している	4.15	11
10	地元の中小企業が育ち発展している	4.15	12
11	若者が学び、遊び、働く場がある	4.14	9
12	美しい街並みや景観が保たれている	4.12	10
13	道路網や港湾など交通ネットワークが充実し、人とモノが活発に行き交っている	4.10	18
14	生活しやすい環境が整っており、住みたいまちになっている	4.09	8
15	環境や自然に対する積極的な取り組みが行われている	4.02	14
15	ヒートアイランド現象(都市域の地上気温が周辺部より高くなる現象)が緩和され、快適に過ごすことができる	4.02	15
17	都心や地域の拠点に活気がありにぎわっている	3.98	16
18	まちの将来像が示され、計画的なまちづくりが進められている	3.97	18
19	自然エネルギーの利用や、省エネルギー、省資源等の環境にやさしいライフスタイルを実践している	3.95	17
20	名古屋独自の魅力や文化が大切にされている	3.94	20
21	憩い楽しむことができる公園などのスペースが身近に整備されている	3.94	13
22	名古屋の魅力が内外に発信されている	3.89	20
23	名古屋が中部地域の産業・観光・文化の拠点となっている	3.86	22
24	国内外から優秀な人材が集まり、将来を担う人材が育っている	3.81	23
25	来訪者への案内、もてなしが行き届き、国内外から多くの人が訪れにぎわっている	3.77	26
26	大学等の高等教育機関・研究施設が集積・連携し、学術研究拠点となっている	3.75	25
27	コンサート、美術展等の文化イベントが数多く開催されている	3.70	28
28	人々の国際感覚が生まれ、世界にひらかれたまちとして、国内外の人との交流・連携が活発に行われている	3.68	26
29	行政と市民、地域、事業者、NPOなどが互いに連携して活動している	3.66	24
30	新しい文化や芸術などが生み出されている	3.59	30

(2)「望ましい姿」に対する現在の満足度について

- ・それぞれ掲げる「望ましい姿」に対する名古屋市の現状について、どの程度満足か5段階で回答を得ました。
- ・平均点は「満足である」を5、「やや満足である」を4、「どちらともいえない」を3、「あまり満足でない」を2、「満足ではない」を1として、各回答者数を乗じ全回答者数で除して算出しました。

◇結果について

- ・通勤・通学者の本市に対する満足度が高い項目には、公共交通、文化などが挙げられます。
- ・通勤・通学者の本市に対する満足度が低い項目には、交通安全、自然環境などが挙げられます。

◇市民アンケート結果と比較した結果について

- ・市民アンケート結果をもとに30項目の順位をつけ、双方の順位を比較しました。
- ・市民より通勤・通学者の満足度が高い項目には、産業、就労などの項目が挙げられます。（凡例  ）
- ・市民より通勤・通学者の満足度が低い項目には、自然環境、生活環境などの項目が挙げられます。（凡例  ）

順位	望ましい姿	平均点	市民アンケート 順位
1	公共交通機関が便利で利用しやすい	3.49	1
2	名古屋独自の魅力や文化が大切にされている	3.32	7
3	道路網や港湾など交通ネットワークが充実し、人とモノが活発に行き交っている	3.19	4
4	コンサート、美術展等の文化イベントが数多く開催されている	3.17	7
5	名古屋が中部地域の産業・観光・文化の拠点となっている	3.15	9
6	都心や地域の拠点に活気がありにぎわっている	3.14	3
7	若者が学び、遊び、働く場がある	3.09	27
8	大学等の高等教育機関・研究施設が集積・連携し、学術研究拠点となっている	3.07	11
9	スポーツイベントが数多く開催されている	3.05	10
10	生活しやすい環境が整っており、住みたいまちになっている	3.00	5
11	国内外から優秀な人材が集まり、将来を担う人材が育っている	2.99	14
12	憩い楽しむことができる公園などのスペースが身近に整備されている	2.99	2
13	美しい街並みや景観が保たれている	2.98	6
14	新しい文化や芸術などが生み出されている	2.96	13
15	名古屋の魅力が内外に発信されている	2.95	16
16	災害時の情報がさまざまな手段で提供され、人々に迅速に行き渡る	2.94	19
17	次の時代を担う産業が育ち発展している	2.94	25
18	地元の中小企業が育ち発展している	2.92	27
19	人々の国際感覚が生まれ、世界にひらかれたまちとして、国内外の人との交流・連携が活発に行われている	2.92	21
20	行政と市民、地域、事業者、NPOなどが互いに連携して活動している	2.92	17
21	来訪者への案内、もてなしが行き届き、国内外から多くの人が訪れにぎわっている	2.88	23
22	まちの将来像が示され、計画的なまちづくりが進められている	2.88	17
23	災害などの緊急時に人々を守る体制が整っている	2.87	24
24	地震や大雨等に備えた、災害に強いまちづくりが進んでいる	2.80	20
25	環境や自然に対する積極的な取り組みが行われている	2.79	14
26	働く意欲のある人が職に就くことができる	2.79	29
27	自然エネルギーの利用や、省エネルギー、省資源等の環境にやさしいライフスタイルを実践している	2.75	21
28	空気や水がきれいで、騒音や悪臭などが無い快適な生活環境が守られている	2.71	12
29	ヒートアイランド現象（都市域の地上気温が周辺部より高くなる現象）が緩和され、快適に過ごすことができる	2.54	26
30	交通事故が少ないまちになっている	2.17	30